

2-5 木更津港の課題

木更津港の現状と役割、木更津港を取り巻く社会情勢の変化、上位・関連計画、企業・利用者のニーズを踏まえ、「物流」、「観光・交流・アメニティ」、「環境」、「安全・安心」の4項目ごとに木更津港の課題を抽出・整理しました。

2-5-1 物流に関する課題

物流に関する現状及び要請・ニーズから抽出された課題は、以下のとおりです。

物流に関する課題
<p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガット船、自動車輸送船における岸壁スペースの不足 ● 新規貨物需要に対応する岸壁の不足 ● クルーズ船寄港時の物流機能の停止 ● 新規貨物需要や取扱貨物量増加に対応する用地の不足 <p>【富津地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富津地区の利用の低迷
物流に関する現状と要請・ニーズ
<p>○物流に関する現状</p> <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車専用船の大型化が進む中、木更津港の入港条件により横浜港、川崎港へ横持ちされている。 ● 中古自動車の増加に伴いモータープール(ストックヤード)が不足。富津地区への横持ちの発生や港湾エリア外にモータープールを設けている企業もある。 ● 原木や木製品の運搬船、砂利・砂の運搬船の大型化が進んでいる。 ● 大型クルーズ船寄港に際して岸壁の利用調整を行っている。 <p>【富津地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富津地区における取扱貨物量が少なく、利用が低迷している。 <p>○物流に関する要請・ニーズ</p> <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大型自動車専用船をはじめとした船舶の大型化への対応 ● 大型貨物船と大型クルーズ船の2隻同時接岸 ● 中古自動車保管ヤードの拡張 ● 砂利・砂取扱岸壁の増深などの機能強化 ● 今後の道路網の充実に伴う増加貨物への対応

2-5-2 観光・交流・アメニティに関する課題

観光・交流・アメニティに関する現状及び要請・ニーズから抽出された課題は、以下のとおりです。

観光・交流・アメニティに関する課題
<ul style="list-style-type: none"> ● にぎわい空間の形成に向けた小型船収容施設が未整備 ● プレジャーボート収容施設が未整備 ● 国内外大型クルーズ船の受入環境整備が不十分 ● 大型プレジャーボートの受入機能がない
観光・交流・アメニティに関する現状と要請・ニーズ
<p>○観光・交流・アメニティに関する現状</p> <p>【吾妻地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吾妻地区の周辺施設は、「みなとオアシス」に登録されており、今後、整備予定の交流厚生用地は、木更津市が進めるパークベイプロジェクトの一部にもなっている。 <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木更津南部地区木更津ふ頭 H 岸壁には、平成29年に木更津港初となるクルーズ船（邦船）が寄港してから、令和 4 年には「にっぽん丸」が初寄港（発着港）した。 ● 木更津南部地区木更津ふ頭 H 岸壁では直轄事業により外航クルーズ船対応のための受入環境整備が実施された。 <p>【全地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富津地区の新富水路などには、放置艇や不法係留艇（プレジャーボート）が点在している。 ● 吾妻地区・木更津南部地区の横水路などにも不法係留艇（プレジャーボート）が点在している。 <p>○観光・交流・アメニティに関する要請・ニーズ</p> <p>【全地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑地等の既存施設を活かしたにぎわい空間の創出 ● マリーナなど観光港としての取組み ● 放置艇、不法係留艇等の小型船収容施設の早期整備 ● 大型プレジャーボートが係留可能な岸壁の確保 <p>【吾妻地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パークベイプロジェクトと一体となった交流厚生用地等のにぎわい空間の創出 <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大型クルーズ船専用岸壁の整備

2-5-3 環境に関する課題

環境に関する現状及び要請・ニーズから抽出された課題は、以下のとおりです。

環境に関する課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代エネルギーの利用・受入可能性の検討 ● 多様な生物が生息する盤洲干潟の保全継続 ● 豊かな自然環境を有する港湾緑地の活用
環境に関する現状と要請・ニーズ
<p>○環境に関する現状</p> <p>【全地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木更津港は京葉臨海コンビナートの一翼を担う工業港であり、CO₂ を多く排出する企業が多数立地している。 ● 全国の港湾では、カーボンニュートラルポートの形成に向け、港湾脱炭素化推進計画の検討が進められている。 ● 富津みなと公園をはじめ、各地区に港湾緑地が整備されている。 <p>【吾妻地区・江川地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木更津港内の盤洲干潟は日本の重要湿地 500 に指定されている広さ約 1,400ha の砂干潟である。 ● 木更津市等では盤洲干潟の保全活動として清掃活動を定期的に行っている。 <p>○環境に関する要請・ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラルに向けた取組みの推進 ● 貴重な自然の干潟である盤洲干潟の保全

2-5-4 安全・安心に関する課題

安全・安心に関する現状及び要請・ニーズから抽出された課題は、以下のとおりです。

安全・安心に関する課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震強化岸壁が未整備(木更津南部地区) ● 木更津航路における貨物船とプレジャーボートの輻輳 ● 作業船・官公庁船等の係留場所が点在 ● 放置艇、不法係留艇の収容施設の不足
安全・安心に関する現状と要請・ニーズ
<p>○安全・安心に関する現状</p> <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急物資輸送用として富津地区 F 岸壁が耐震強化岸壁として整備されている。また、木更津南部地区 F 岸壁も耐震強化岸壁として計画されているが未整備の状態である。 ● 木更津南部地区の小型船だまりが未整備であることから、ガット船、タグボート、巡視船等が吾妻地区、木更津南部地区に点在している。 ● 木更津航路における貨物船とプレジャーボートの行き会い等、船舶の航行に支障をきたしているエリアがある。 <p>【富津地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富津地区の新富水路などには、放置艇や不法係留艇(プレジャーボート)が点在している。 <p>○安全・安心に関する要請・ニーズ</p> <p>【全地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 航路の適切な維持浚渫 <p>【木更津南部地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 耐震強化岸壁の早期整備 ● 木更津南部地区小型船だまりの早期整備 ● 木更津航路は狭いため、貨物船とプレジャーボート等が輻輳すると危険 <p>【吾妻地区・富津地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 放置艇、不法係留艇等の小型船収容施設の早期整備